

平成 21 年 6 月 30 日
日本下水道事業団

**平成 21 年度におけるアセットマネジメント・下水道長寿命化支援制度に関する
ＪＳの支援状況について**

- 下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）を受けて -

ＪＳでは、これまで計画設計から下水道施設の実施設計、工事、維持管理、経営に至る下水道のライフサイクルの各段階において様々な支援を実施してきた経験・ノウハウを活かして、アセットマネジメント手法導入支援業務や長寿命化計画策定業務（再構築基本設計（長寿命化計画）業務）などについても実施してきました。

また、アセットマネジメントに関する静岡市との共同研究や、これまでの業務を通じて様々な知見・ノウハウを蓄積するとともに、各種ツール等を開発してきたほか、これらの経験に基づき実践的な業務マニュアルを策定し、ＪＳから業務を受託している民間コンサルタント会社等を対象とした講習会を平成 21 年 3 月に行うなど、より効率的かつ効果的な業務を遂行するための取り組みを行っています。

さらに、先般国土交通省より発出された「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）」についても、特に具体的な事例等の充実に対して協力を行ってきたところです。

１．業務受託実績

平成 19 年度より本格的なアセットマネジメント手法導入支援業務を実施しており、平成 20 年度末で静岡市など 5 団体で導入を支援しました。また、長寿命化計画策定業務については、先般、国土交通省の同意を得られた高知市をはじめとして、25 団体から受託しました。

平成 21 年度においても、アセットマネジメント手法導入支援業務で数団体、長寿命化計画策定業務で 90 団体以上（平成 20 年度からの継続団体を含む）から受託予定です。

２．業務体制の充実

急増するアセットマネジメント手法導入業務および下水道長寿命化支援制度に関する業務に対応するため、平成 21 年度より本社事業統括部に調査役（アセットマネジメント戦略）を、東西両設計センターに調査役（アセットマネジメント推進）を設置しました。また、実務を担当する東西両設計センターの計画設計課の課員を増員し、これら急増する業務に対応できる体制を整えています。

**３．国土交通省の「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）」の
発出を受けて**

この度、国土交通省の下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）が改訂されましたが、処理

場・ポンプ場に係る部分の多くは、既に同様の内容を取り入れた形で業務を実施してきました(参考資料参照)。さらに、今回の手引き(案)の内容を正確に反映させ、また昨年度の業務を通して得られた新たな知見などを追加するよう、現在、JSの業務マニュアルの改訂作業を進めており、民間コンサルタント会社等を対象とした今年度の講習会を年内を目途に開催する予定です。

【問い合わせ先】

日本下水道事業団 事業統括部
新プロジェクト推進課長 細川 顕仁
03 - 6361 - 7832

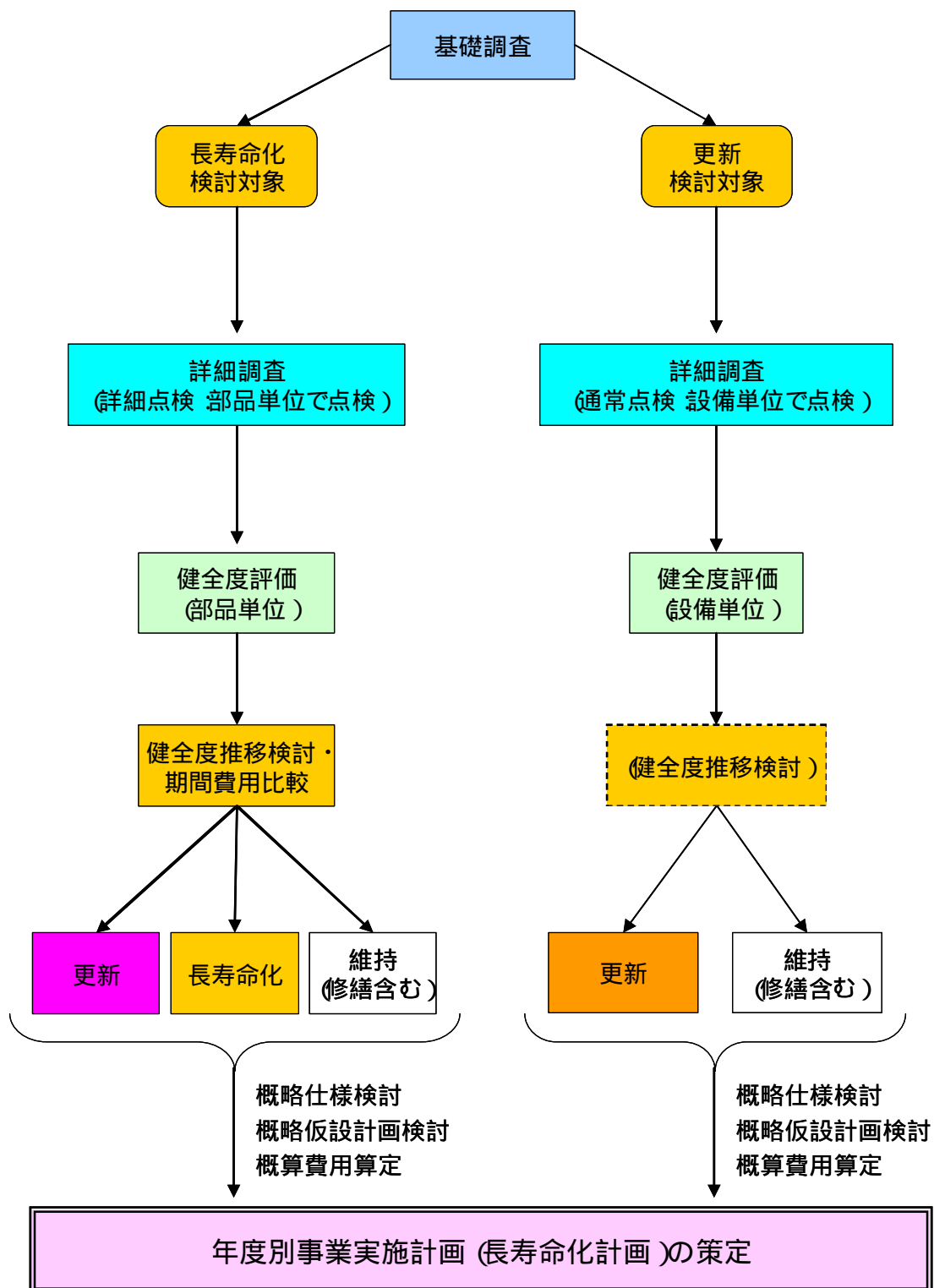
下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）の
「第 3 章及び参考資料」と J S の対応について

国土交通省が発出した「下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）」のうち、第 3 章（処理場・ポンプ場）及び参考資料における主な項目部分について、J S の対応状況をまとめたものを以下に示します。

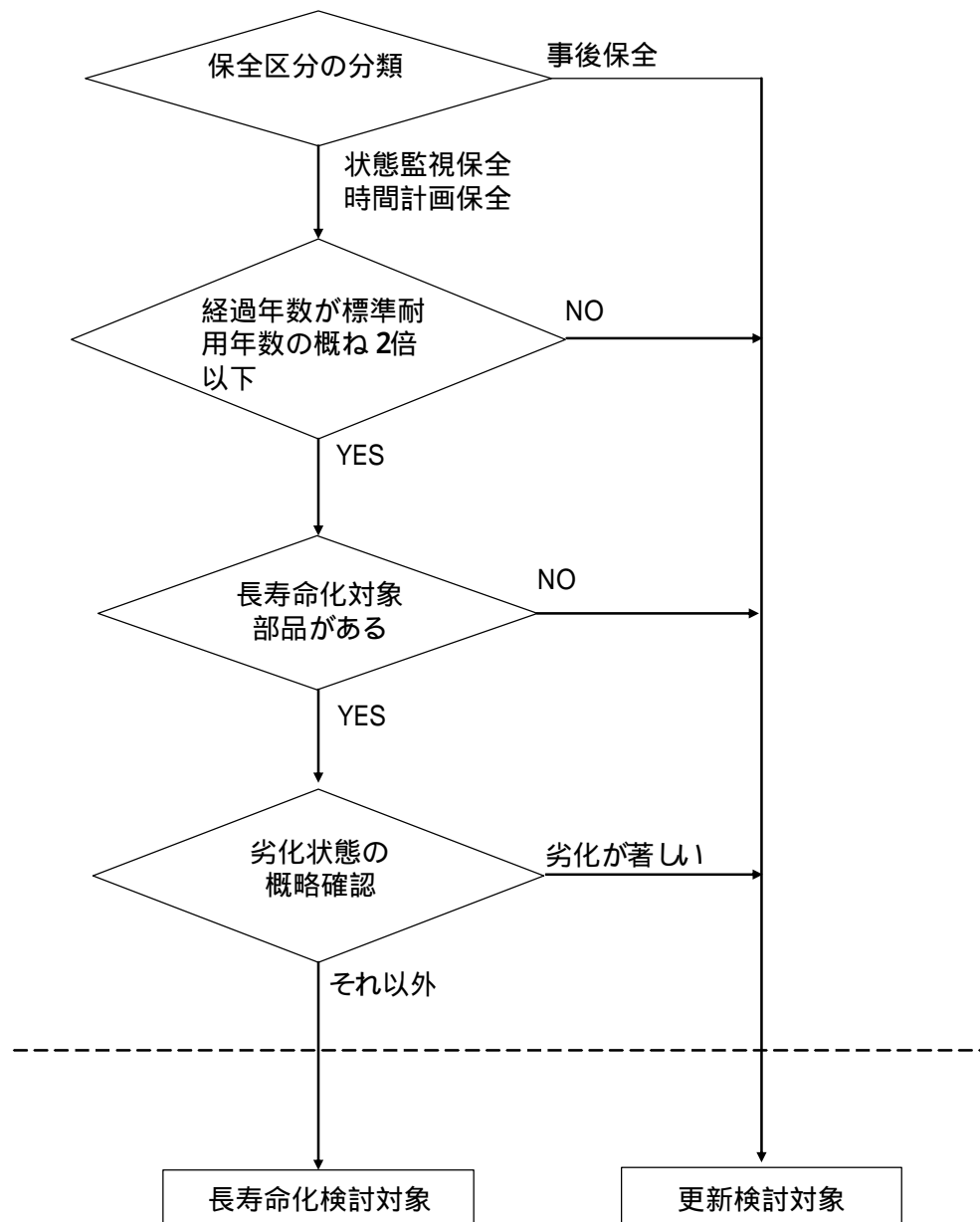
表 下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）の
第 3 章（処理場・ポンプ場）及び参考資料の主な項目における J S の対応状況

第 3 章及び 参考資料における 主な項目	国土交通省 手引き改訂箇所	J S の対応
検討フロー	処理場設備に関する検討フローを追加。	下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）の「参考資料」と同様の検討フローにて業務を実施。（別紙 1 参照）
対象施設の 選定方法	長寿命化対策を検討すべき対象設備の選定方法を記述。	下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）の「参考資料」と同様の選定フローにて業務を実施。（別紙 2 参照）
健全度の 判定方法	「参考資料」に、主な設備に関する主要部品の判定項目、判定基準の事例を追加。	J S 業務マニュアルにおいて、下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）の「参考資料」と同様の健全度判定表の例を掲載し、同様の手法により健全度判定を実施。（別紙 3 参照）
長寿命化対策の 決定方法	経済性のみならず、省エネ、効率化等の機能性を勘案すべきことを記述。	J S 業務マニュアルにおいて、下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）（平成 21 年度版）と同様に機能性を勘案して長寿命化対策を決定する旨を記載し、同様の手法により長寿命化対策の検討を実施。

(別紙1) 長寿命化計画策定フローの例



(別紙 2) 長寿命化検討対象設備の選定フローの例



(別紙3) 健全度の判定方法の例 (健全度判定表の例: 抜粋)

			調査年月日 		
--	--	--	---	--	--

健全度判定表 (例)

処理場名	現場名称	前回の健全度	

設置年月日	耐用年数	経過年数	
	年	年	

設置場所	大分類	中分類	小分類	形式

社会適合性	適合	
	不適だが猶予期間内	
	不適かつ猶予期間経過後	
	不適かつ猶予期間なし	

資産状態	機能不全	
	故障中	
	休止中	

確認部位	確認部品	確認項目	劣化現象	劣化範囲					
27 ロケット・イ・& 軸、軸受、軸封水設置	軸	錆	甲 劣化無し	イ ー	/	/	/		
			乙 点錆orもらい錆	ロ 少					
			丙 表面錆	ハ 多					
			丁 腐食						
		劣化現象		劣化範囲					
		経過時間	経過時間						
	軸受	振動_v.m.V	劣化現象		劣化範囲				
			振動測定値 (mm/s)	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
			電動機容量 (kW)	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
			劣化現象		劣化範囲				
		振動_v.m.H	振動測定値 (mm/s)	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
			電動機容量 (kW)	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
		劣化現象		劣化範囲					
		振動_a.m.V	振動測定値	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
			電動機容量 (kW)	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
		劣化現象		劣化範囲					
		振動_a.m.H	振動測定値	イ 剛基礎	/	/	/		
				ロ 軟基礎					
	電動機容量 (kW)		イ 剛基礎	/	/	/			
ロ 軟基礎									
劣化現象		劣化範囲							
温度	軸受温度	室温	管理基準値	管理限界値	/				
			上限値	上限値					
			下限値	下限値					
		劣化現象		劣化範囲					
絶縁抵抗値	測定値		管理基準値	管理限界値	/				
			上限値	上限値					
			下限値	下限値					
		劣化現象		劣化範囲					
経過時間	経過年数				/				
		劣化現象		劣化範囲					

アセットマネジメントに関するJSの取組みの経緯

